

平成 29 年度第 2 回外部講師招聘研修会活動報告

テ ー マ：「リハビリテーションにおける安全管理について」

講 師：独立行政法人労働者健康安全機構

山口労災病院 中央リハビリテーション部

主任理学療法士 砥上 恵幸 先生

日 時：平成 29 年 10 月 13 日（金） 17：10～18：40

内 容：講義

参加人数：87 名（PT OT ST）



今回は、「即解 リハビリテーションスタッフのためのトラブルシューティング」の編集にも携わられた砥上恵幸先生をお招きして、「リハビリテーションにおける安全管理について」というテーマでご講演していただきました。

講演は、山口労災病院で実際に取り組まれている事を紹介されながら、医療安全について、またセラピストとしてどのように業務に従事していけばよいかという内容でした。臨床場面でのリスク管理はもちろんですが、様々な経験をすることで養われる「適応的無意識」いわゆるセラピストの直感やひらめきの大切さも学びました。

職場全体としては、医療安全に取り組んでいき、それを「文化」として醸成させることが大事で、そのためには、先輩や管理職が人の先頭に立って模範を示す「率先垂範」の意識が重要であると教わりました。



個人・組織の行動変容が起き、自己効力感が高まってくると、「文化」としての医療安全が根付き、患者様にとっても安心・安全なリハビリテーションが提供できます。この度の

貴重なご講演をもとに、当リハビリセンターとしてもより一層医療安全に取り組んでいく必要があると思いました。

最後に、砥上先生には限られた時間の中ではありましたが、分りやすくリハビリテーションにおける安全管理についてご講演いただきまして、誠にありがとうございました。



（文責 理学療法課長 吉岡正和）